

テーマ設定理由

・絵の具を身近に使ってほしいという保育者の思いから、年長クラスと年中クラスで赤・青・黄の3原色の絵具を用意した。子どもたちが集まってきて3つの色で何が書けるか？と考えていたところ、色を混ぜて、自分だけの魚やたこなど海の生き物を書いてみようということになった。3色だけの絵具から全く違う魚たちができたので、園の他のお友だちにもみせたいと階段に掲示した。階段にある自分たちの作品を見ているうちに絵具を混ぜることで色の表現がたくさんあることに気づいた。だが、あまり使い慣れない絵の具。海を書いたところで終了。同じころ、別の保育者も2歳児クラスの子どもたちに絵具遊びを提案。紙と絵具（赤と黄）、タンポ・スポンジ・筆などを用意し、「さあ、どうぞ〜」と出してみると、反応は様々だったが、どんどんその楽しさに遊びが広がり、手が絵具まみれになりながらもダイナミックに色を混ぜたり、いろいろな道具を使ったり。初めての素材に触れて好奇心を刺激された様子から低年齢のうちからであればもっと色の世界を楽しめるのではないかと思いテーマに設定した。

活動スケジュール

6月・・・絵具遊びを始める

7～9月・・・色を使って水遊びを広げる（色水遊び→色氷作り→スライム）

1月・・・素材を粘土にして色の変化を楽しみ、ごっこ遊びへ

3月・・・おひなさま

探究活動の実践

絵の具遊び開始（6月25日～）

・外遊びができない日が続き、「絵の具遊び」にチャレンジ

紙と2色（赤・黄）の絵具、タンポ、スポンジ、筆を用意。子どもたちが思いつくままに絵具遊びを始める。

最初は恐るおそる。道具を使ってチャレンジしているうちにダイナミックになり、今度は手の感触で絵の具を塗ることを楽しむ。



・2回目は色を変えてみる。

青と水色を用意。色の違いに気づく。そのうちに今度は昨日使った「黄色」の絵具に注目。黄色を出すと、すぐに混ぜてみた子どもたち、青が黄緑の変化していくことに気づき大興奮！！紙だけでなく、今度は段ボールを出してきて、立体にも描いてみた。手や筆を使ってペタペタ。集中して遊ぶ姿が・・・。

・7月に入って、2歳児の楽しむ様子を見て1歳児クラスの子どもたち。自分たちもやってみよう挑戦。手に絵具がついて困ってしまう姿も・・・。



・3回目は赤・青・黄の3原色の色の混ざりを楽しんでみる。指や手のひらにつけて押すと指の形や手の形がつくことにも気づき楽しむ姿が。

色水遊びの始まり（7月14日～）

・タライに赤・青・黄の3原色を用意。

まずは色づくりから。たらいでいろいろな容器に入れて色の混ざり方や変化を楽しむ。そのうち、ジョーゴやスプーンを使ってコップやペットボトルにいろいろな色を作って保育者にみせてくれました！！

・今度は製氷皿を用意してみると、最初は一面同じ色を入れていたが、そのうち、一つのマスごとにいろいろな色を入れて色の変化や色のバランスをみて楽しむように。このころは1歳も2歳も一緒になって夢中になって取り組む姿が印象的！！製氷機の色水は凍らせてブロックにしてみました。でもすぐに溶けちゃって、冷たい～笑笑

今度は蓋つきの容器を用意してみると・・・自分だけのスペシャル色水が出来上がって大満足。そのうち、中にボールを入れたり、蓋をずらしてみたり、こぼれるという現象を前に一生懸命こぼれないための工夫をしていた子どもたち。その一方で、カラフルな色づくりや色の配合に夢中になっている子どもも。色のグラデーションを作っている子どもに保育者はびっくりさせられる一面も。

・最初は食紅を使っていたものを、今度は水彩絵の具を使ってみると、色の混ざり具合の違いに気づき、色を加えながらその変化を楽しむ様子も見られました。また、チャック付きのビニール袋を出してみると、袋に入っている色水をモニョモニョもんだり、叩いたり、プンプンしたり、今度はその感触を楽しむ様子も見られました。また、どの位ま・2Lのペットボトルを用意してみると・・・一人でなくみんなで順番に入れていくことで、そのたびに色が変わる様子を楽しむ。そこでは、色の変化がいきなり変わるのでなく、少しずつ変わることを発見！！



・最後は「スライム」。透明のスライムにいつもは色をつけて遊んでいたのを、今回はカラーセロファンやストローなどのトッピングで模様や色付けにチャレンジ。遊び方の幅が広がってさらなる新しい発見の連続でした！！
 カップに入れてゼリーやプリンを作ったり、製氷機に入れて詰めたり、切ったり、包んだり。料理のように包丁で切る姿もあって楽しみも倍増でした。

・しばらく、色から離れてごっこ遊びに夢中だった秋。冬。12月の生活発表に向けて大好きな絵本の中から3匹のこぶたの劇遊びをすることになり、絵本で見たわらの家やレンガの家を、自分たちでイメージをふくらませながら絵の具やすずらんテープで塗ったり、貼ったりして作りました。わらの家と黄の家、レンガの家を部屋にしばらく置いとくと、毎日そこでこぶたになりきって遊んでいることもたちの姿が・・・。家ができると、自然と家族が集まり、ご飯づくりが始まりました・・・。みんなが家族を感じ、距離が近くなったきがしました♡



木の家とレンガの家は家の形に切った段ボールZ
 個と箱型にした段ボールをいくつか用意してみ
 ると・・・箱形の段ボール全体に色を塗って家
 にしたい子どももいて、両方作ってお部屋に置
 きました。

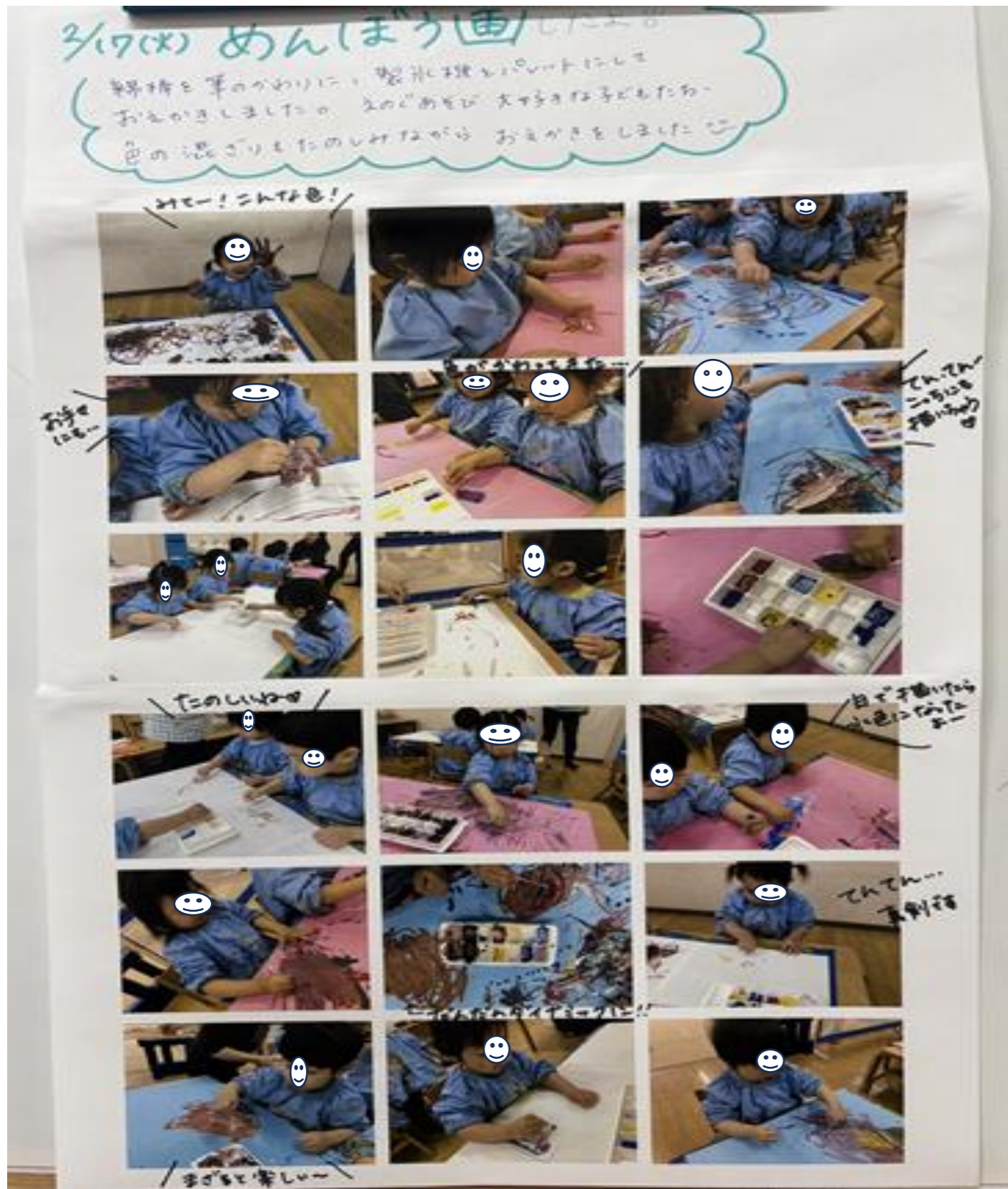
みるさるさるを出すため、あえて
 塗らざるすずらんテープを使っ
 てわらの家をつくってみた。ど
 うしたらさるさるかな？という
 問いかけに、ちょっとずつ一
 層にしてくっつけよう！というこ
 とになり・・・。

レンガの家はどうやって作る？と問いかけ・・・、木の家をつくるた
 めに茶色く塗った箱形の段ボールに、保育士が絵本を見ながら白い紙
 の具で模様をひいてみたところ、レンガの色は一緒じゃないよ、ど
 うしたお友だちのこぼれに、じゃあ、違う色の紙を形に切って貼っ
 ていこうよと一人の子どもが言い出し、保育士がいくつかの色の折り紙を
 裏面形に切っておいてみました。集まってきた子どもたちはその
 折り紙のり付けをして自分の好きなイメージで貼っていき、素敵な
 レンガの家の出来上がり！！

色つき粘土を使って・・・1月7日～

- ・秋から粘土遊びに興味を持った子供たち。そこで… 赤・緑・黄の3色の粘土を用意。
- 最初は1色で「この色がいい」と言っていた子どもたち。次第に盛り上がってくると・・・、いろいろな色を混ぜて新しい色の粘土を作り、ウィンナー、キュウリ、お肉、お団子などの形を作ってごっこ遊びを展開していた子どもたち。とてもかわいいアイスクリームやお団子ができあがり、大満足でした。
- ・節分が近くなり、段ボールに赤を塗ったり、青を塗って鬼づくり。





めん棒画に挑戦 2月～

・色の混ぜ方が少しずつ混ざる様子を観察するために綿棒を使ってやってみた！その中で筆と違った綿棒の先端の柔らかい感触と点と線などいつもの筆とは違う描き方に気づき楽しんでいた子どもたちでした。綿棒に一度つけた色の上に他の色をのせていく中で、どんどん色が変わっていくことを面白がっていました。

3月～

・おひなさまでは。。。 (2/25)

自分の好きな色の画用紙を選び、自分のお雛様のイメージで色画用紙に模様を描いたものを実際に身につけて、記念写真を撮って、大満足！！

1年を通して、いろいろな素材を使って色の発色や混ぜ方を観察したり、発見したりしてきた子どもたち。道具の使い方や、どんな時にどんな素材と素材を組み合わせたり、使ったりすると自分のイメージに合ったものができるかを予想しながら取り組みようになってきました。もちろん、失敗もたくさんありますが・・・。



めん棒画に挑戦 2月～

・色の混ぜ方が少しずつ混ざる様子を観察するために綿棒を使ってやってみた！その中で筆と違った綿棒の先端の柔らかい感触と点と線などいつもの筆とは違う描き方に気づき楽しんでいた子どもたちでした。綿棒に一度つけた色の上に他の色をのせていく中で、どんどん色が変わっていくことを面白がっていました。

